

NY マーケットレポート (2017年3月13日)

NY市場のドル/円は、東京市場からの流れを引き継いで円買いドル売りが先行した。ただ今週15日にFRBが追加利上げに踏み切ることが確実視されており、米長期金利が上昇したことでドルの買い戻しも入った。終盤では、FOMC会合を前に持ち高が解消され、ドルは狭いレンジ内での取引となった。市場は年内3回の利上げをほぼ織り込んでおり、ドルの強気筋は年内4回の利上げが選択肢として示唆されると予想している。

一方、週後半にかけてはG20財務大臣・中央銀行総裁会議を控え、貿易不均衡やドル高についての米国からのけん制に対して警戒感が高まっており、全般的に様子見ムードも強くなっている。

2017年3月13日(月)

海外	高値	安値	終値
USD/JPY	114.90	114.49	114.88
EUR/JPY	122.44	122.14	122.39
GBP/JPY	140.49	139.75	140.37
AUD/JPY	87.04	86.72	86.97
EUR/USD	1.0679	1.0653	1.0653

東京	高値	安値
USD/JPY	114.92	114.51
EUR/JPY	122.89	122.29
GBP/JPY	140.32	139.52
AUD/JPY	86.98	86.51
EUR/USD	1.0715	1.0672

*東京時間(は5p.m.まで)

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19,633.75	+29.14
ハンセン指数	23,829.67	+261.00
上海総合	3,237.02	+24.26
韓国総合指数	2,117.59	+20.24
豪ASX200	5,757.35	-18.27
インドSENSEX指数	休場	休場
シンガポールST指数	3,147.15	+13.80

欧米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20,881.48	-21.50
S&P500	2,373.47	+0.87
NASDAQ	5,875.78	+14.06
英FT100	7,367.08	+24.00
独DAX	11,990.03	+26.85
日経225(CME)	19,610.00	+90.00
ボヘスバ指数	65,534.30	+858.84

3/14 経済指標スケジュール

09:30【豪州】2月 NAB企業景況感指数
 11:00【中国】2月 固定資産投資[都市部/年初来](前年比)
 11:00【中国】2月 鉱工業生産[年初来](前年比)
 11:00【中国】2月 小売売上高[年初来](前年比)
 16:00【ドイツ】2月 消費者物価指数
 16:00【ドイツ】2月 調和消費者物価指数
 19:00【欧州】欧州 3月 ZEW景況感調査
 19:00【欧州】欧州 1月 鉱工業生産
 19:00【米国】2月 NFIB中小企業楽観指数
 19:00【ドイツ】3月 ドイツ ZEW景況感調査
 20:00【南アフリカ】1月 製造業生産
 21:30【米国】2月 生産者物価指数
 21:30【米国】2月 生産者物価指数[コア]
 21:30【カナダ】2月 住宅価格指数

商品市場	終値	前日比
NY GOLD	1203.10	+1.70
NY 原油	48.40	-0.09
CMEコーン	361.00	-3.25
CBOT 大豆	1006.00	-0.50

欧米債券市場	本日	前日
独連邦10年債	0.471%	0.485%
英国10年債	1.247%	1.231%
米 2年債	1.372%	1.355%
米 5年債	2.138%	2.098%
米 10年債	2.626%	2.575%

9/12 主要会議・講演・その他予定

米FOMC開催(15日まで)
 12:45 20年国債入札(1兆1000億円)

NY 市場レポート

19:38

◆《要人発言》

野上官房副長官

・「安倍首相はサウジアラムコの東京での IPO を支持して欲しいと伝えた」=日・サウジ首脳会談

サルマン・サウジ国王

・「日本人にアラムコ株を購入してもらいたいのので検討したい」

20:00

◆《主要ニュース》

日米財務相、17日に初会談で調整=政府筋

麻生太郎財務相がムニューシン米財務長官と今月17日、ドイツのバーデン・バーデンで初の会談を開催する方向で調整を始めた。政府筋が明らかにした。同地で開催される20カ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議に合わせて行われる。トランプ米政権の為替政策がドル高/円安をけん制するスタンスなのか、市場では初の日米財務相会談の結果に注目する参加者が増えている。また、日中間でも財務相会談を開催する方向で調整を進めている。

21:04

◆《主要ニュース》

仏大統領選挙：ルペン氏1ポイント上昇、マクロン氏低下=調査

13日公表のフランス大統領選挙に関するオピニオンウェイの日次世論調査で、第1回投票についてのルペン国民戦線(FN)党首の支持が1ポイント上昇し27%となった。マクロン前経済相は1ポイント低下し25%、フィヨン元首相は変わらずの20%となった。決選投票はマクロン氏・ルペン氏なら62%対38%、フィヨン氏・ルペン氏なら58%対42%となった。

21:50

◆《要人発言》

IMFのチーフエコノミスト、モーリス・オブストフェルド氏

- ・「米国の税政策の影響は国外に及ぶ可能性があることから、他の国々にとって協議すべき議題になる」
- ・「輸入税は顕著なドル高につながり、新興国のほか、サウジアラビアなどドル・ペッグ制を採用している国に影響が及ぶ可能性がある」
- ・「現時点でIMFがECB政策のテーパリングを提言することはない。ECBは良い仕事をしているとIMFは判断している」

22:30

◆《要人発言》

ドラギ ECB 総裁

・「高賃金、社会的保護という域内経済モデルを守り、複数の先進国経済でみられる経済不安に対抗するためにも、生産性の伸び加速は重要だ」

00:35

◆《要人発言》

トランプ米大統領

- ・「オバマケア撤廃に1年待つのは間違っている」
- ・「失策オバマケアを置き換える決意がある」

00:53

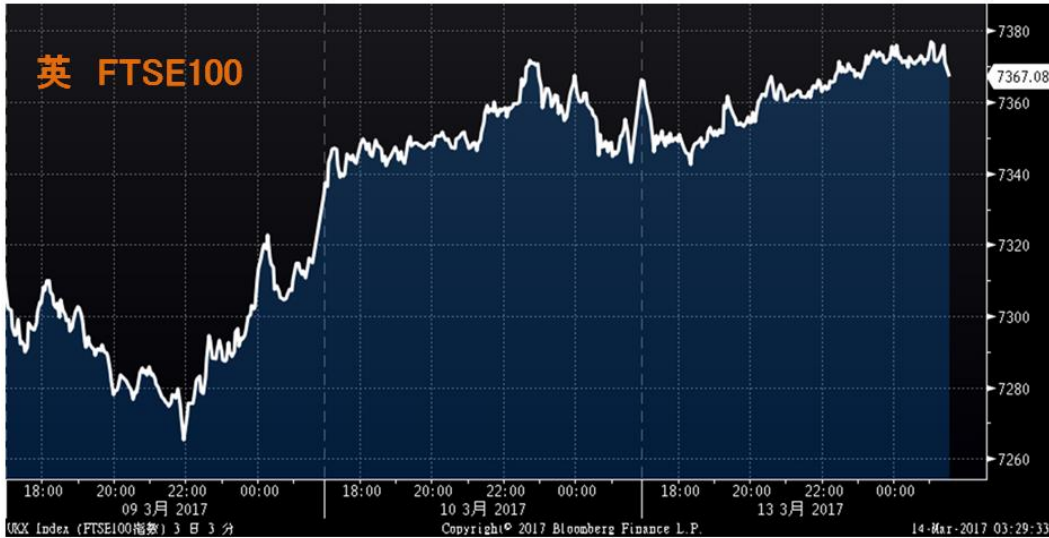
◆《要人発言》

バイトマン独連銀総裁

- ・「ドルの強さは米国経済の見通しを反映している」
- ・「米国は以前に弱い通貨で利益を得ていた」
- ・「最近のドルの変動は想定範囲内」
- ・「通貨ユーロに関するドイツへの批判には根拠がない」

《欧州株式市場》

週明け 13 日の欧州株式市場は上昇した。FT100 指数の終値は前週末比 24.00 ポイント高の 7367.08。DAX 指数は 26.85 ポイント高の 1 万 990.03。ロンドン市場では油田サービス会社のジョン・ウッド・グループが、同業のアメック・フォスター・ウィーラーを約 27 億ドルで買収することで合意した。欧州企業の合併・買収 (M&A) 活動への期待が広がった。一方、15 日のオランダ下院選などを控えて様子見ムードも強く、値動きは限られた。



出所：Bloomberg

3：22

◆《主要ニュース》

米独首脳会談、17日に延期 米大統領報道官

スパイサー米大統領報道官は 13 日、大雪が予報されているため、トランプ米大統領とメルケル独首相のワシントンでの会談を 17 日に延期すると発表した。

4:03

◆《主要ニュース》

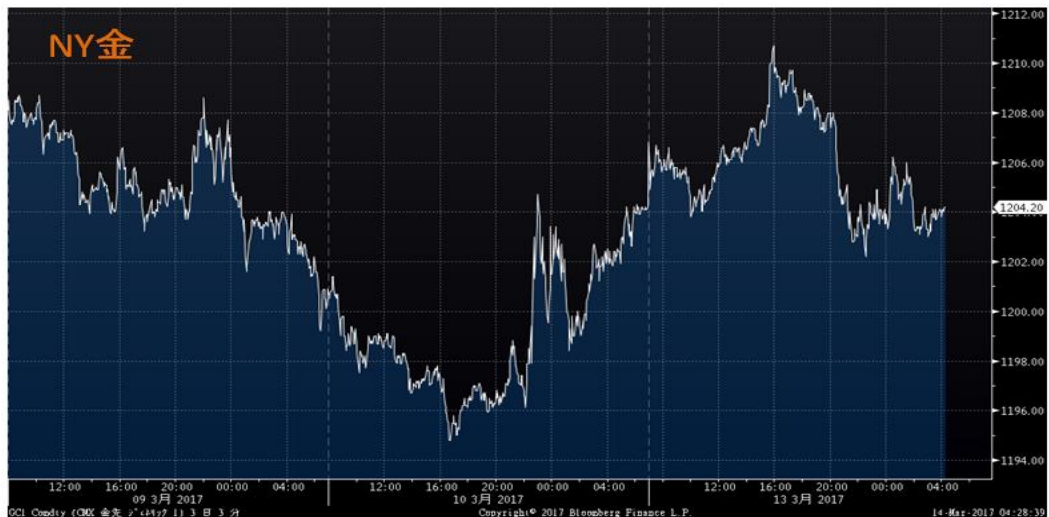
英下院、上院の EU 離脱修正案を否決

英下院は 13 日、欧州連合 (EU) 離脱交渉の最終合意案を拒否する一段の権限を議会に認める修正案を否決した。

下院はまた、EU 離脱後に英国在住の EU 各国市民の権利を保障する追加条件を盛り込む修正案も否決した。

《 NY 金市場 》

13 日の NY の金先物相場は小幅ながら 10 営業日ぶりに反発し、前週末比 1.70 ドル高の 1 オンス=1203.10 ドルで取引を終えた。15 日のオランダ下院選を巡る不透明感から投資家がリスク回避の姿勢を強め、安全志向で金の買いが優勢となった。ただ、今週 15 日の FOMC で追加利上げが決まるとの見方が上値を抑え、上げ幅は限定的だった。



出所：Bloomberg

◀ NY原油市場 ▶

13日のNYの原油先物相場は6営業日続落し、前週末比0.09ドル安の1バレル=48.40ドルと、昨年11月下旬以来約3ヵ月半ぶりの安値で取引を終えた。米国のシェールオイル増産で需給が緩むとの懸念から売り注文が優勢となった。

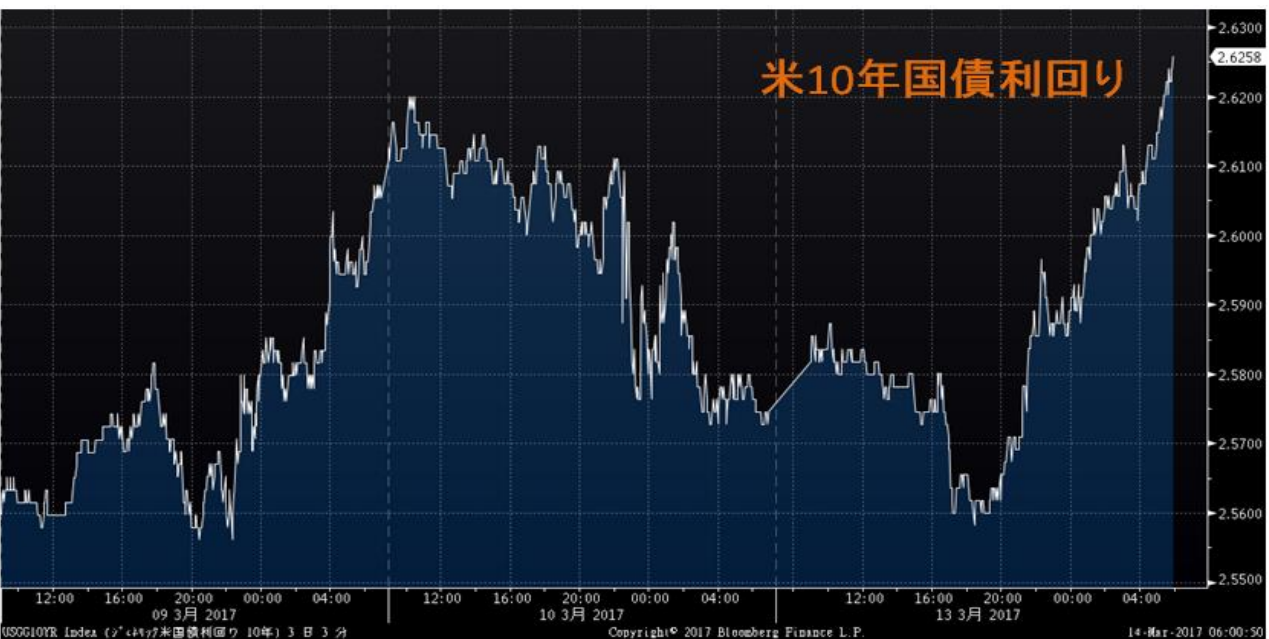


出所：Bloomberg

◀米債券市場▶

13日の米債券市場は、15日のFOMC声明発表待ちで商いは薄かったものの、利上げは確定的との見方が引き続き優勢となり、国債利回りはやや上昇した。

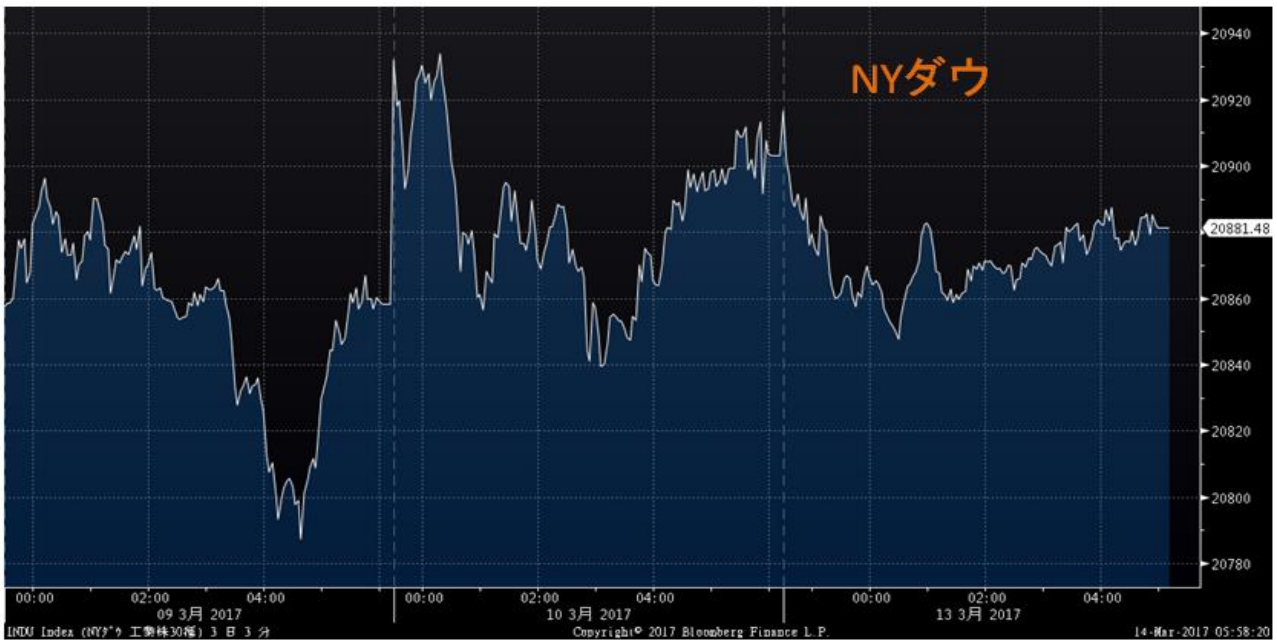
FRBが示す新たな経済見通しで、金融引き締めペースが加速することへの警戒感が意識され、週内に社債発行が相次ぐことも利回りの押し上げ要因となった模様。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

13日の米国株式市場は前営業日から横ばい圏で取引を終えた。FOMCを前に様子見ムードが強く、商いは薄かった。S&P総合500種指数は狭い値幅でプラス圏とマイナス圏を行き来し、投資家の不安心理の度合いを示すVIX指数は1週間強ぶりの水準に下がった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

NY市場のドル/円は、東京市場からの流れを引き継いで円買いドル売りが先行した。ただ今週15日にFRBが追加利上げに踏み切ることが確実視されており、米長期金利が上昇したことで、ドルの買い戻しも入った。

一方、週後半にかけてはG20財務大臣・中央銀行総裁会議を控え、貿易不均衡やドル高について、米国からのけん制に対する警戒感が高まっているため、全般的に様子見ムードも強く、値動きは限定的だった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。